

# 私の最後の定例議会が始まりました

2月27日～3月27日

27日から3月定例議会がはじまりました。私にとっては議員生活最後となるであろう議会です。しつかりと最後を締めくくりたいと思います。

私は、提案された議案の疑義を質す総括質疑で28日に登壇するのをはじめ、18日からの一般質問（質問日時は未定）でもいくつかの問題で市長の考えを聞く予定です。13日から3日間の総務常任委員会では、引き続き財政論議や市政のあり方などで論戦しようと考えています。

3月議会は予算を審議する重要な議会です。総括質疑でも一般会計予算案に対する質疑が集中しました。国の三位一体改革によって地方交付税が大幅に減額されたことで、どの自治体でも厳しい財政運営を強いられています。国の責任を押し隠した上で、財政運営の打開の方向を、住民負担の強化に求めている実態もあります。地方自治体が本来の役目（住民のくらし・福祉を守る役割）を發揮すべき時に、防波堤の役目を果せないでいるのです。しかしだからといって、自治体の不備を追及していただけないで問題が解決しません。国の悪政をいかにしてあぶり出していくかがカナメの問題

## 国保税値上げ中止署名7334筆に

国保をよくする会は、この間進めている「国保の値上げ中止を求める署名」の第二次分として2434筆を、26日、上越市に提出されました。第一次分4900筆と合わせて7334筆になりました。

上越市では以前、産廃処分場をめぐって水道水源を守れという署名で18万人という例がありますが、この種（福祉）の署名では大きな数です。昨年は住民税の大幅な値上げがありました。それに引き続いての国保税の値上げであり、水道料金の値上げです。灯油代をはじめ諸物価もどんどん値上がりしてきています。そうした市民の生活実態が、ここに反映しているのだと思います。

だと思っておりますが、うまくいくかどうか。

ところで今期の総括質疑。9つの会派代表が登壇しますが、その内3人が今期限りで引退する議員でした。前回（4年前）も前々回（8年前）もそんなことはなかったように思います。「有終の美を飾る」とは、聞いたところはいいいですが。



8日、第一次分を提出した際の写真  
手前左は村山副市長、右は関口荘六「会」代表

日本共産党上越市議会議員 杉本敏宏の

## 市政レポート

2008年3月2日 No.175  
発行・杉本敏宏事務所  
上越市東本町5丁目1番38号  
TEL 025(524)3787 FAX 025(524)3832